

③研修の感想をお書きください。(吉谷先生の講話で心に残ったことなど)

自由進度学習は現在の学校課題を解決していく上で意義があると思います。ありがとうございます。

ありがとうございました。

具体的な実践をもとにされていたので、良い面や課題となる面がわかりやすかったです。

私自身も行っている自由進度学習と照らし合わせながら、お話を聞いて改善したいところがあったので、有意義な時間となりました。ありがとうございました。

吉谷教頭先生。

本日は、とても学びになるお話をしていただきありがとうございました。

現在、同学年と自由進度学習に取り組んでいますが、子どもたちの学びに向かう姿勢が明らかに変わってきたように思います。(良い方に)

算数のみでの実施ですが、これから他の教科でも取り入れていきたいなと思いました。

昨年大嶺小でもっとたくさん学んでおけばよかったなと後悔しています。また教えてください。

ありがとうございました。

「環境を整え、子どもに合わせていく指導が必要」という言葉が印象に残りました。私は支援級の担任をさせていただいているのですが、自己決定の数だけ子どもたちは前向きに学習しているのを実感しています。自由進度学習、大変勉強になりました。学校内のグレーゾーンの児童が学習の場の土俵に上がり、活動する姿が思い浮かびました。良いきっかけをいただきました。参加させていただき、どうもありがとうございました。次回も、楽しみにしています。

とても勉強になりました。ありがとうございます。

「自己決定力」はこれからは時代を生き抜く子どもたちにとって必要な資質・能力だと感じています。自由進度学習はこの自己決定を基盤とする学び方だな、と思いました。

喉をやられていて、会の中では質問できなかったのですが、吉谷先生が学習計画を立てる上で、逆に「自由進度学習に適さない学習内容」はあるのかお尋ねしたかったです。

みんながわかるできる授業を目指して、今まで授業を考えていました。でも、子どもたちのふりかえりやテストの点数などから、取り残してしまった児童がなくなることはありませんでした。そのような状況から自由進度学習に出会い、これなら本当に全員がわかるできる授業になるのではと思い、実践しています。吉田先生の言われていた「子どもたちの多様なニーズがあり、そのニーズに答えることで、より学びが楽しくなる。」という言葉は、とても共感できました。自由進度学習を進めるにあたり、難波先生や奈須先生、蓑手先生が書かれた本を参考に自分なりにやっていますが、これでいいのか心の中では悩んでいます。自由進度学習について個人的に話がしたいと思いました。また、よかったら僕の授業を見に来ていただけると嬉しいです。また、お話しする機会があれば、よろしくお願い致します。今日は、ありがとうございました。

本日は、ありがとうございました。何でも取り組み始めるときは、大変だと思います。考え方も実践も参考になりました。慣れてくると、子供同士が自分で考えたり、よく話したりするようになると思います。様子を見ながら進めていきたいと思っています。

「自分は良かれと思ってやっていたことが…」という話にはすごく共感しました。相手のこと(子どものこと)を思ってしたつもりの授業形態や指導が(後から懇談や雑談などで聞いて)相手の求めていることではないこともあり、難しいなと思う今日この頃です。「子どもに合わせて学校」ですね。

まずはできる子を待たせる一斉指導にならないように、考え直してみたいと思います。自分の授業はもちろん、学年で何か提案できるといいなと思いました。

ありがとうございました。一時間半があつという間でした。

「本物の主体性とは」という問いが生まれた講話でした。学習意欲は教師が引き出すのか、子どもが自身が高めるのか、相補関係にあるのかなど、授業づくりの根本に立ち返ることができました。自由進度学習は一つの方法論であり、様々に教師が色を加えられるものです。教師の個性も際立ち、子どもが輝くことは、共に育ち・学ぶということであるので、共同して主体性を磨き合うことであると整理することができました。「個別最適な学び」の旨みを引き立たせるために「任せる」「伴走する」「支える」を教師が児童の個性に合わせて個別に講じる『授業観の転換』につながりました。

今後、この学びを子どもに還元するだけでなく、校内研修にもエッセンスを織り交ぜていきます。ありがとうございました。

吉谷先生、貴重な実践例や考え方を示していただきありがとうございました。

自立した学習者が目的で、あくまでも自由進度学習は手段であることをお互い忘れないようにしたいですね。そして、この、学び方が流行りに終わらないように、現役の先生方には、頑張ってもらいたいです。

これまでの一斉に同じ方法で学ばせる授業から、子どもたちが選択・決定しながら、自分の学びたいことを自分の方法で学ぶ授業づくりができる時代になったんだと、嬉しく思います。

個別最適な学びという追い風を子どもにしっかり送って欲しいです。しかし、この追い風ともに、これが自分にとって逆風と思われる方も一定数いるかもしれません。校内で手を取り合える安心できる学校経営が必須になるかもしれません。

また、これまでの複式授業の形や考えが大きく変わる可能性も出てきたように思います。良いことですね。しかし、退職した方々が、自由進度学習に関わることを迷い、非常勤講師を断ることも出るかもしれませんね。

放課後タイムも、有意義でした。可能であれば、残って言い足りなかったことを発言してほしいなと思いました。

吉谷先生、大変ありがとうございました。某人気ラーメン店に、個別最適な学びの要素があったとは...つかみから一気に引き込まれた発表でした。学習の主体者である子供に、「選択・決定」があることは、令和の学びには絶対に必要であると感じました。常に教師の指示で進む一斉授業ではなく、子供が自分の課題を意識して学びを進めることで、メタ認知や自己調整力は育ってくると思います。そのような意味で、自由進度学習の可能性を感じました。また、ICTを効果的に活用した数々の実践事例は大変参考になりました。子供はそもそも学ぶ力をもっている。この子供観や授業観のアップデートが大切であると学ぶことができました。貴重な提案と資料ありがとうございました。